

1. 事業手法

西宮市では、平成31年2月に西宮市学校施設長寿命化計画を策定し、その中で苦楽園中学校・苦楽園小学校の長寿命化改修を同時期に予定している。隣接する両校の一体的実施を前提に、効率的・効果的な事業推進と事業コストの低減を目的として、民間事業者が持つノウハウを生かすデザインビルド方式（基本設計先行）の事業手法を市場調査を通じて選定した。

2. 対象地

2.1 苦楽園中学校 所在 西宮市苦楽園三番町14-1

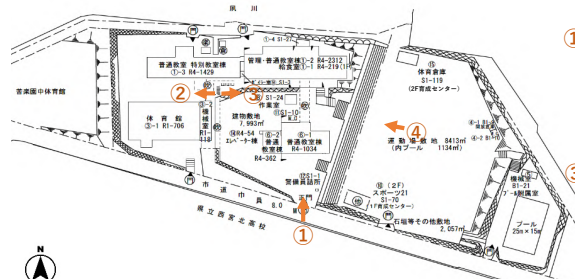
対象棟	構造	延べ面積	建築年
南棟	RC造5階建	3,982㎡	1974年築
北棟	RC造3・4階建	5,189㎡	1974年～1980年築（一部増築）



地形の特徴：校地内及び周囲の道路は高低差が著しい
施設の状況：各校舎間に段差があり、外壁を中心に老朽化が著しい

2.2 苦楽園小学校 所在 西宮市苦楽園二番町18-12

対象棟	構造	延べ面積	建築年
南棟	RC造4階建	1,450㎡	1977年～1981年築（一部増築）
体育館棟	RC造1階建	824㎡	1976年築
北棟	RC造4階建	3,990㎡	1975年～1985年築（一部増築）



地形の特徴：校地内及び周囲の道路は高低差が著しい
施設の状況：各校舎間に段差があり、老朽化が進行している

3. 改修方針

校舎の機能回復・耐久性の向上、教育環境の改善に加えて学習指導要領の改訂、インクルーシブ教育システム、防災機能の充実などに応じるため、必要な諸室や機能を整備する長寿命化改修工事を行う。

4. 事業方針について

令和4年9月に事業手法を説明した際の課題を整理し下記のように検討するとともに、参加資格要件等を事業方針（別紙資料）として整理した。現時点での総事業費は約50億円（税込）を予定している。

- ①地域経済の活性化
 - ・市内事業者の契約率を20%以上とし、それ以上に契約率が上回る提案には総合評価にかかる配点を加算。
- ②改修工事にかかる設計変更リスクの低減
 - ・契約前の段階で確定が困難な改修数量については、基本設計及び要求水準書で事前に想定数量を明示し、想定数量をベースに実際の工事実績が確定した際に清算する等、入札条件および数量変更条件を明確にルール化する。
- ③物価変動に対するリスク分担の明確化
 - ・急激な物価変動が起こった場合の契約変更に関するルールを入札公告時に規定することで、市及び事業者のリスク分担を明確にする。

5. 今後の事業スケジュール

令和5年12月に債務負担行為設定の議会提案を行い、承認後に入札公告を予定している。

年度時期		内容
R5年度 (2023年度)	10月	所管事務報告 ・事業方針の公表について
	12月	12月議会提案 ・債務負担行為の設定
	1月	入札公告
R6年度 (2024年度)	6月	落札候補者の選定
	9月	議会承認後、本契約締結
R10年度 (2028年度)	4月	事業完了

項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
事業者公募		◆	◆				
設計・施工	実施設計		◆	◆	◆		
	長寿命化改修工事			◆	◆	◆	◆